

(お知らせ)

平成30年7月7日
防 衛 省

平成30年7月5日からの大雨に係る災害派遣について
(20時30分現在)

※数値等は速報値であり、今後変わることがある。
※下線部は、前回報告からの変更箇所

【①京都府】

1. 災害派遣の概要

- (1) 要 請 日 時 平成30年7月6日 (金) 01時10分
- (2) 要 請 元 京都府知事
- (3) 要 請 先 陸上自衛隊第7普通科連隊長 (福知山)
- (4) 要請の概要 水防活動
- (5) 発 生 場 所 京都府京都市
- (6) 撤収要請日時 平成30年7月6日 (金) 07時05分

2. 災害派遣までの経緯

平成30年7月6日 (金)、京都府京都市において、台風7号及びその後の大雨の影響で、京都府内の河川が増水し、氾濫危険水位に達している状況である。このため、同日01時10分、京都府知事から陸上自衛隊第7普通科連隊長に対し、水防活動（堤防補強のための土嚢積み）に係る災害派遣要請があった。

3. 防衛省・自衛隊の対応

- (1) 活動部隊 陸 自 第7普通科連隊 (福知山)、中部方面後方支援隊 (桂)
- (2) 活動規模 人 員 約185名
車 両 約50両
その他 LO人員2名、LO車両1両

(3) 主な対応状況

【5日 (木)】

- 16時40分 第7普通科連隊のLO (人員2名、車両1両) が京都府庁に向け駐屯地を出発

【6日 (金)】

- 01時10分 京都府知事から第7普通科連隊長に対し、水防活動に係る**災害派遣要請**。
- 02時27分 第7普通科連隊の偵察部隊 (人員3名、車両2両) が京都府京都市久我橋付近に向け駐屯地を出発。
- 02時30分 中部方面後方支援隊の偵察部隊 (人員3名、車両1両) が京都府京都市久我橋付近に向け駐屯地を出発。
- 02時40分 第7普通科連隊の部隊 (人員約20名、車両約5両) が京都府京都市久我橋付近に向け駐屯地を出発
- 03時45分以降 第7普通科連隊の部隊 (人員約125名、車両約40両) が京都府京都市久我橋付近及び桂駐屯地に向け駐屯地を出発

- 05時13分 中部方面後方支援隊の部隊（人員約35名、車両4両）が京都府京都市久我橋付近に向け駐屯地を出発
- 07時05分 京都府知事から撤収要請を受け、水防活動を終了。
※ 水防作業が終了したことにより、撤収要請があったもの。

【②高知県】

1. 災害派遣の概要

- (1) 要請日時 平成30年7月6日（金）03時30分
- (2) 要請元 高知県知事
- (3) 要請先 陸上自衛隊第50普通科連隊長（高知）
- (4) 要請の概要 孤立者の救助等
- (5) 発生場所 高知県安芸市

2. 災害派遣までの経緯

平成30年7月6日（金）、台風7号及びその後の大雨の影響で、高知県内の河川が堤防を越水し、高知県安芸市で孤立者が発生したことから、同日03時30分、高知県から陸上自衛隊第50普通科連隊長に対し、孤立者の救助等に係る災害派遣要請があった。

3. 防衛省・自衛隊の対応

- (1) 活動部隊 陸自 第50普通科連隊長（高知）
- (2) 活動規模 人員 約15名（延べ30名）
車両 3両（延べ約5両）
その他 LO人員4名、LO車両2両
（LO人員延べ8名、LO車両延べ4両）

(3) 主な対応状況

【6日（金）】

- 03時30分 高知県知事から第50普通科連隊長に対し、孤立者の救助に係る**災害派遣要請**。
- 04時35分 第50普通科連隊長のLO（人員2名、車両1両）が高知県庁へ向け駐屯地を出発。
- 04時55分 第50普通科連隊長のLO（人員2名、車両1両）が安芸市役所へ向け駐屯地を出発。
- 06時25分 第50普通科連隊長のFAST-Force（人員約15名、車両3両）が安芸市防災センターへ向け駐屯地を出発。
- 13時58分 防衛省災害対策連絡室設置。

【7日（土）】

前日に引き続き第50普通科連隊長のLO（人員4名、車両2両）が高知県庁及び安芸市役所で情報収集。

前日に引き続き第50普通科連隊長の部隊（人員約15名、車両3両）が水防活動を実施。

※ 24時間態勢で水防活動を継続。

【③福岡県】

1. 災害派遣の概要

- | | |
|-----------|---------------------|
| (1) 要請日時 | 平成30年7月6日(金) 09時56分 |
| (2) 要請元 | 福岡県知事 |
| (3) 要請先 | 陸上自衛隊第4師団長(福岡) |
| (4) 要請の概要 | 人命救助等 |
| (5) 発生場所 | 福岡県北九州市門司区、飯塚市、筑前町 |

2. 災害派遣までの経緯

平成30年7月6日(金)、台風7号及びその後の大雨の影響で、福岡県北九州市で土砂崩れが発生し、民家に土砂が流れ込み2名が行方不明となった。このため、本日09時56分、福岡県知事から陸上自衛隊第4師団長に対し、人命救助に係る災害派遣要請があった。新たに同県飯塚市において孤立者の救助、同県筑前町において孤立者の救助等の追加要請があった。

3. 防衛省・自衛隊の対応

- | | | |
|----------|-----|---|
| (1) 活動部隊 | 陸自 | 第40普通科連隊(小倉)、第4師団司令部(福岡)、第4施設大隊(大村)、第2高射特科団(飯塚)、第2施設群(飯塚)、第9施設群(小郡) |
| (2) 活動規模 | 人員 | 約60名(延べ約220名) |
| | 車両 | 約15両(延べ約50両) |
| | その他 | LO人員6名、LO車両3両
(LO人員延べ12名、LO車両延べ6両) |

(3) 主な対応状況

【6日(金)】

- | | |
|----------|--|
| 08時20分 | 第2高射特科団のLO(人員2名、車両1両)が飯塚市役所に向け駐屯地を出発。 |
| 09時10分 | 第4師団司令部のLO(人員2名、車両1両)が福岡県庁に向け駐屯地を出発。 |
| 09時55分 | 第40普通科連隊のLO(人員2名、車両1両)が北九州市役所に向け駐屯地を出発。 |
| 09時56分 | 福岡県知事から第4師団長に対し、人命救助に係る 災害派遣要請 。 |
| 09時57分 | 第40普通科連隊の偵察部隊(人員4名、車両1両)が現地(北九州市門司区)に向け駐屯地を出発。 |
| 10時26分 | 第40普通科連隊のFAST-Force(人員約25名、車両約10両)が現地(北九州市門司区)に向け駐屯地を出発。 |
| 11時40分以降 | 第40普通科連隊の主力部隊(人員約60名、車両約15両)が現地(北九州市門司区)に向け順次出発。 |
| 13時00分以降 | 第4施設大隊の活動部隊(人員約10名、車両約5両)が小倉駐屯地に向け駐屯地を出発。 |
| 13時58分 | 防衛省災害対策連絡室設置。 |
| 18時55分以降 | 第40普通科連隊の部隊(人員約55名、車両約5両)が現地に向け |

- 駐屯地を出発。
- 20時30分 第2施設群の偵察部隊（人員3名、車両1両）が現地（飯塚市矢山）に向け駐屯地を出発。
- 22時10分 第9施設群の偵察部隊（人員2名、車両2両）が現地（青少年自然の家）に向け駐屯地を出発。
- 【7日（土）】 前日に引き続き、第4師団司令部等のLO（人員6名、車両3両）が福岡県庁等で情報収集。
- 00時20分 第9施設群の活動部隊（人員約10名、車両4両）が現地（青少年自然の家）に向け駐屯地を出発。
- 03時00分 第4施設大隊の部隊（人員約5名、車両3両）が現地（北九州市門司区）に向け小倉駐屯地を出発。
- 04時30分以降 第40普通科連隊の部隊（人員約45名、車両約10両）が現地（北九州市門司区）に向け駐屯地を順次出発。

※ 24時間態勢で搜索活動を継続。

【④京都府】

1. 災害派遣の概要

- (1) 要請日時 平成30年7月6日（金）18時35分
- (2) 要請元 京都府知事
- (3) 要請先 陸上自衛隊第7普通科連隊長（福知山）
- (4) 要請の概要 水防活動
- (5) 発生場所 京都府京都市
- (6) 撤収要請日時 平成30年7月6日（金）23時30分

2. 災害派遣までの経緯

平成30年7月6日（金）、京都府京都市において、台風7号及びその後の大雨の影響で、京都府内の河川が増水し、氾濫危険水位に達したため、本日、京都府知事から陸上自衛隊第7普通科連隊長に対し、水防活動（堤防補強のための土嚢積み）に係る災害派遣要請があり、水防活動を実施し、活動を終了。その後上流ダムの放水により、更に水防活動が必要になったことから、本日18時35分、京都府知事から第7普通科連隊長に対し、水防活動に係る災害派遣要請があった。

3. 防衛省・自衛隊の対応

- (1) 活動部隊 陸自 第7普通科連隊（福知山）_中部方面後方支援隊（桂）
- (2) 活動規模 人員 約115名
車両 約15両
その他 LO人員2名、LO車両1両
- (3) 主な対応状況

【6日（金）】

前日から引き続き、第7普通科連隊のLO（人員2名、車両1両）が京

- 都府庁で情報収集を実施。
- 18時35分 京都府知事から第7普通科連隊長に対し、水防活動に係る**災害派遣要請**。
- 19時00分 第7普通科連隊の偵察部隊（人員3名、車両1両）が京都市久我橋付近に向け桂駐屯地を出発。
- 19時21分 第7普通科連隊の活動部隊（人員約30名、車両3両）が京都市久我橋付近に向け桂駐屯地を出発。
- 19時57分以降 第7普通科連隊及び中部方面後方支援隊の活動部隊（人員約50名、車両約5両）が京都市久我橋付近に向け桂駐屯地を出発。
- 20時50分 中部方面後方支援隊の活動部隊（人員約35名、車両約5両）が京都市久我橋付近に向け駐屯地を出発。
- 23時30分 京都府知事から撤収要請を受け、水防活動を終了。
※ 水防作業が終了したことにより、撤収要請があったもの。

【⑤広島県】

1. 災害派遣の概要

- (1) 要請日時 平成30年7月6日（金）21時00分
- (2) 要請元 広島県知事
- (3) 要請先 陸上自衛隊第13旅団長（海田市）
- (4) 要請の概要 人命救助
- (5) 発生場所 広島県広島市、海田町、熊野町、東広島市、呉市、安津町

2. 災害派遣までの経緯

平成30年7月6日（金）、台風7号及びその後の大雨の影響で、広島県で土砂崩れが発生し、民家に土砂が流れ込み数名が行方不明となった。このため、本日21時00分、広島県知事から陸上自衛隊第13旅団長に対し、人命救助に係る災害派遣要請があった。

3. 防衛省・自衛隊の対応

- (1) 活動部隊 陸自 第13旅団司令部（海田市）、第46普通科連隊（海田市）、第47普通科連隊（海田市）、第49普通科連隊（豊川）
第13飛行隊（防府）
海自 呉地方総監部（呉）、呉警備隊（呉）、呉基地業務隊（呉）
呉地方隊（呉）、造船修補給処（呉）
- (2) 活動規模 人員 約540名（延べ約570名）
車両 約155両（延べ約160両）
艦艇 2隻
航空機 2機
その他 LO人員5名、LO車両2両
（LO人員延べ10名、LO車両延べ4両）

(3) 主な対応状況

【6日（金）】

- 15時40分 第13旅団司令部のLO（人員2名、車両1両）が広島県庁に向け駐屯

地を出発。

- 20時26分 呉地方総監部のLO（人員1名）が呉市役所に向け基地を出発。
- 21時00分 広島県知事から第13旅団長に対し、人命救助に係る**災害派遣要請**。
第46普通科連隊のLO（人員2名、車両1両）が広島市役所に向け駐屯地を出発。
- 21時48分 第46普通科連隊のFAST-Force（人員約25名、車両約5両）が安芸^{あき}消防署に向け駐屯地を出発。
- 23時45分 呉警備隊及び呉基地業務隊の偵察隊（人員約5名、車両1両）が呉市安浦へ向け基地を出発。

【7日（土）】

- 前日に引き続き、第13旅団司令部等のLOが広島県庁等で情報収集。
前日に引き続き、第46普通科連隊等の部隊（人員約30名、車両約5両）が人命救助を実施。
- 02時15分 第47普通科連隊の活動部隊（人員約20名、車両約5両）が東広島市安芸津町木谷に向け駐屯地を出発。
- 02時15分 第46普通科連隊の先遣隊（人員4名、車両3両）が熊野町民体育館に向け駐屯地を出発。
- 04時27分 第46普通科連隊の主力部隊（人員約45名、車両約10両）が熊野町民体育館に向け駐屯地を出発。
- 06時09分 第46普通科連隊の活動部隊（人員約15名、車両4両）が呉市安浦町下柿内に向け駐屯地を出発。
- 07時45分 第47普通科連隊の活動部隊（人員約25名、車両5両）が東広島市西条町^{すけさね}助実に向け駐屯地を出発。
- 08時00分 第49普通科連隊の部隊（人員約65名、車両約25両）が海田市駐屯地に向け駐屯地を出発。
- 09時55分 呉地方隊の水中処分母船が呉警備隊及び造船修補給処の活動部隊（人員約35名）輸送のため観音崎港に向け出港。
- 13時05分 呉地方隊の水船が給水支援のため江田島（深田サルベージ岸壁）に向け出港。じ後、現地浄水池へ給水支援を実施。
- 14時05分 第13飛行隊のUH-1×1、OH-6×1機が情報収集及び救助活動のため駐屯地を離陸
- 14時45分 第14普通科連隊の部隊（人員約110名、車両約30両）が川西駐屯地に向け駐屯地を出発。
- 14時50分以降 第10特科連隊、第10施設大隊、の部隊（人員約190名、車両約70両）が現地（北九州市門司区）に向け駐屯地を順次出発。

※ 24時間態勢で搜索活動を継続。

【⑥岡山県】

1. 災害派遣の概要

- (1) 要請日時 平成30年7月6日(金) 23時11分
(2) 要請元 岡山県知事
(3) 要請先 陸上自衛隊第13旅団長(海田市)
(4) 要請の概要 人命救助等
(5) 発生場所 岡山県高梁市、たかほし 苫田郡鏡町とまたぐんかがみのちょう

2. 災害派遣までの経緯

平成30年7月6日(金)、台風7号及びその後の大雨の影響で、岡山県高梁市で孤立者が発生したことから、6日23時11分、岡山県知事から陸上自衛隊第13旅団長に対し、人命救助に係る災害派遣要請があった。

3. 防衛省・自衛隊の対応

- (1) 活動部隊 陸自 第13特科隊(日本原)、第305施設隊(三軒屋)、自衛隊岡山地方協力本部
(2) 活動規模 人員 約80名
車両 約25両
ボート 8隻
その他 LO人員7名、LO車両2両
(LO人員延べ13名、LO車両延べ4両)

(3) 主な対応状況

【6日(金)】

- 08時35分 第13特科隊のLO(人員2名、車両1両)が岡山県庁に向け駐屯地を出発。
23時11分 岡山県知事から第13旅団長に対し、人命救助に係る**災害派遣要請**。
23時30分 自衛隊岡山地方協力本部のLO(人員4名)が岡山県庁に向け出発。
23時40分 第305施設隊のLO(人員2名、車両1両)がたかほし高梁市役所に向け駐屯地を出発。

【7日(土)】

- 前日に引き続き、第13特科隊等のLOが岡山県庁等で情報収集。
00時05分 自衛隊岡山地方協力本部のLO(人員1名)がたかほし高梁市役所に向け出発。
00時33分 第13特科隊の先遣隊(人員4名、車両1両)がはくび伯備線日羽駅ひわに向け駐屯地を出発。
01時00分 第305施設隊の救助部隊(人員約20名、車両約10両、ボート8隻)がたかほし高梁市役所に向け駐屯地を出発。
01時18分 第13特科隊の救助部隊(人員約5名、車両1両)が伯備線日羽駅に向け駐屯地を出発。
08時00分 第49普通科連隊の部隊(人員約50名、車両約15両)が海田市駐屯地に向け駐屯地を出発。

※ 24時間態勢で搜索活動を継続。

【⑦京都府】

1. 災害派遣の概要

- (1) 要請日時 ① 平成30年7月7日(土) 06時10分
② 平成30年7月7日(土) 09時42分
- (2) 要請元 京都府知事
- (3) 要請先 ① 陸上自衛隊第7普通科連隊長(福知山)
② 海上自衛隊舞鶴地方総監(舞鶴)
- (4) 要請の概要 人命救助
- (5) 発生場所 ① 京都府綾部市上杉町
② 京都府舞鶴市城屋

2. 災害派遣までの経緯

- ① 平成30年7月7日(土)、台風7号及びその後の大雨の影響で、京都府綾部市上杉町で土砂崩れが発生し、民家に土砂が流れ込み数名が行方不明となった。このため、本日06時10分、京都府知事から陸上自衛隊第7普通科連隊長に対し、人命救助に係る災害派遣要請があった。
- ② 平成30年7月7日(土)、台風7号及びその後の大雨の影響で、京都府舞鶴市城屋で土砂崩れが発生し、民家に土砂が流れ込み数名が行方不明となった。このため、本日06時10分、京都府知事から海上自衛隊舞鶴地方総監に対し、人命救助に係る災害派遣要請があった。

3. 防衛省・自衛隊の対応

- (1) 活動部隊 ① 陸自 第7普通科連隊長(福知山)、中部方面航空隊(八尾)
自衛隊京都地方協力本部
② 海自 舞鶴教育隊(舞鶴)
- (2) 活動規模 ① 人員 約85名
車両 約20両
航空機 2機
その他 LO人員3名、LO車両2両
② 人員 約75名
車両 5両
その他 LO人員1名、LO車両1両

(3) 主な対応状況

【7日(土)】

- ① 00時50分 自衛隊京都地方協力本部のLO(人員1名、車両1両)が綾部市役所に向け出発
- 06時10分 京都府知事から第7普通科連隊長に対し、人命救助に係る**災害派遣要請**。
- 07時05分 第7普通科連隊長のLO(人員2名、車両1両)が綾部市役所に向け出発。
- 07時13分以降 第7普通科連隊長の部隊(人員約85名、車両20両)が綾部市総

合グラウンドに向け駐屯地を出発。

13時42分 中部方面航空隊のUH-1×1機（映像伝送機）が情報収集のため、駐屯地を離陸。

13時59分 中部方面航空隊のUH-1×1機（映像伝送機）が情報収集のため、駐屯地を離陸。

② 00時40分 自衛隊京都地方協力本部のLO（人員1名、車両1両）が舞鶴市役所に向け出発

09時42分 京都府知事から舞鶴地方総監に対し、人命救助に係る**災害派遣要請**。

11時02分以降 舞鶴地方隊の部隊（人員約40名、車両3両）が舞鶴市城屋に向け基地を出発

13時40分 舞鶴地方隊の部隊（人員約15名、車両1両）が舞鶴市城屋に向け基地を出発。

16時15分 舞鶴地方隊の部隊（人員約20名、車両1両）が舞鶴市城屋に向け基地を出発。

※ 自治体との調整により明朝より活動を再開予定

【⑧愛媛県】

1. 災害派遣の概要

- | | |
|-----------|---------------------------|
| (1) 要請日時 | 平成30年7月7日（土）06時10分 |
| (2) 要請元 | 愛媛県知事 |
| (3) 要請先 | 陸上自衛隊中部方面特科隊長（松山） |
| (4) 要請の概要 | 人命救助 |
| (5) 発生場所 | 愛媛県松山市怒和島 ^{ぬわじま} |

2. 災害派遣までの経緯

平成30年7月7日（土）、台風7号及びその後の大雨の影響で、愛媛県怒和島で土砂崩れが発生し、民家に土砂が流れ込み数名が行方不明となった。このため、本日06時10分、愛媛県知事から陸上自衛隊中部方面特科隊長に対し、人命救助に係る災害派遣要請があった。

3. 防衛省・自衛隊の対応

- | | | |
|----------|-----|---------------|
| (1) 活動部隊 | 陸自 | 中部方面特科隊（松山） |
| (2) 活動規模 | 人員 | 約30名 |
| | 車両 | 2両 |
| | その他 | LO人員2名、LO車両1両 |

(3) 主な対応状況

【6日（金）】

08時33分 中部方面特科隊のLO（人員2名、車両1両）が愛媛県庁に向け駐屯地を出発。

【7日（土）】

06時10分 愛媛県知事から中部方面特科隊長に対し、人命救助に係る**災害派遣要請**。
中部方面特科隊の活動部隊（人員約30名、車両2両）が怒和島に向けて駐屯地を出発。

※ 今後の活動については、自治体と調整中。

【⑨山口県】

1. 災害派遣の概要

- | | |
|------------|-------------------------------------|
| (1) 要請日時 | 平成30年7月7日（土）07時35分 |
| (2) 要請元 | 山口県知事 |
| (3) 要請先 | 陸上自衛隊第13旅団長（海田市） |
| (4) 要請の概要 | 人命救助 |
| (5) 発生場所 | 山口県岩国市周東町 <small>しゅうとうまち</small> 瀬越 |
| (6) 撤収要請日時 | 平成30年7月7日（土）14時55分 |

2. 災害派遣までの経緯

平成30年7月7日（土）、台風7号及びその後の大雨の影響で、山口県岩国市周東町瀬越で土砂崩れが発生し、民家に土砂が流れ込み数名が行方不明となった。このため、本日07時35分、山口県知事から陸上自衛隊第13旅団長に対し、人命救助に係る災害派遣要請があった。

3. 防衛省・自衛隊の対応

- | | | |
|----------|-----|---------------|
| (1) 活動部隊 | 陸自 | 第17普通科連隊（山口） |
| (2) 活動規模 | 人員 | 約50名 |
| | 車両 | 約5両 |
| | その他 | LO人員2名、LO車両1両 |

(3) 主な対応状況

【7日（土）】

- | | |
|--------|---|
| 05時00分 | 第17普通科連隊のLO（人員2名、車両1両）が岩国市役所に向け駐屯地を出発。 |
| 07時35分 | 山口県知事から第13旅団長に対し、人命救助に係る 災害派遣要請 。 |
| 09時00分 | 第17普通科連隊のFAST-Force（人員約50名、車両約5両）が現地向け駐屯地を出発。 |
| 14時55分 | 山口県知事から撤収要請を受け、人命救助活動を終了。
※ <u>行方不明者が発見されたことから、撤収要請があったもの。</u> |